

第3章 研究報告

1 研究体系（平成25年度）

区分	No.	研究課題	研究年度	県施策項目	共同研究機関	担当部
健康危機管理時の対応力向上に資する調査研究	1	ノロウイルス検出感度向上に関する研究	25-26	食の安全・安心の確保		保健科学部
	2	腸管出血性大腸菌による健康被害発生時における疫学的解析手法の検討に関する研究	24-25			
	3	病原微生物の分子疫学指標のデータベース化に関する研究	24-25			
行政課題・地域課題解決に向けた調査研究	4	マダニ媒介性感染症に関する基礎研究	25-27	地域の保健医療体制の確立		保健科学部
	5	ウイルス媒介性節足動物の生息に関する研究	25-26	地球温暖化対策の推進	国立感染症研究所(厚生労働省科学研究補助金研究協力)	地球科学部
	6	粒径別大気粒子状物質の環境リスク評価と大気環境情報の可視化に関する研究	24-25	多様で豊かな環境の保全		地球科学部
	7	酸性雨による環境影響の総合的評価(広域連携事業)	25-26			
高度な分析機器を用いた新たな検査・分析法の開発	8	食品中有害化学物質検査の精度管理体制の強化及び検証	25-27	食の安全・安心の確保		衛生科学部
	9	腸管出血性大腸菌(EHEC)の検査法に関する研究	25-27			検査部
	10	有機フッ素系化合物に係る日中韓汚染状況比較及び生体影響説明等に関する研究	23-25	多様で豊かな環境の保全	大連理工大学・中国医科大学(中国)、釜慶大学(韓国)、USEPA(アメリカ)、国立環境研究所、京都大学、岩手大学など	環境科学部
	11	PPCPs (Pharmaceutical and Personal Care Products) 等化学物質実態調査	25-26			
12	LCMS/MSによるDNAアダクトームの解析	25-27	八戸高専、岩手大学、日本獣医生命科学大学			
本県の豊かな自然環境の保全に資する調査研究	13	希少植物の種の保存および地域資源としての活用に関する研究	24-28	多様で豊かな環境の保全		地球科学部
	14	イヌワシ個体群の生態的特性および遺伝的構造に関する研究	23-27		東北鳥類研究所、京都大学、盛岡市動物公園、三陸中部森林管理署、環境省猛禽類保護センター	
	15	ヘア・トラップ法によるツキノワグマの生息動向と個体数推定法の開発	24-28			
	16	里山における半自然草原の生物多様性保全に関する研究	23-25		信州大学	
計	16テーマ					